

# “治療費はどの位 かかりますか？”

Q

今度入院して手術し、抗がん剤の治療が始まります。抗がん剤はとても高額だと聞きました。入院と抗がん剤の治療には、どれ位かかるでしょう？経済的負担が軽くなる方法はないでしょうか？



A

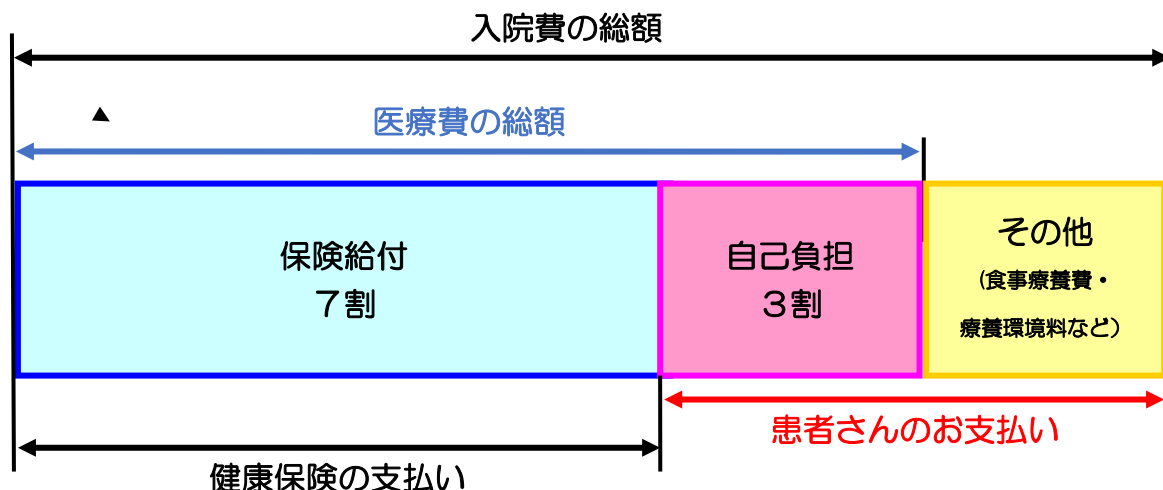
医療費は、確かに大きな問題です。がんの診療の多くは、保険診療（健康保険が適用される診療）で行なわれ、併せて医療費の負担を軽くする制度もあります。

## 1) 健康保険による医療費の仕組み

保険診療には、診察、各種検査、治療（手術療法・化学療法・放射線療法など）や看護などが含まれています。ただし、入院中の食事代（食事療養費）や差額ベッド代（療養環境料）などは、保険診療の医療費とはなりませんので、自己負担となります。

ここでは70歳未満の方についてご説明いたします。

【例】自己負担3割（保険給付7割）の方の入院費用の場合



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター  
〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1  
TEL: 03-3972-0011（相談直通） 0570-01-8111（ナビダイヤル）

次に医療費の負担を軽くする制度についてご紹介します。

## 2) 高額療養費制度 ～限度額適用認定証について～

高額療養費制度とは、医療機関や薬局の窓口で支払った額が、ひと月（月の初めから終わりまで）で上限額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。

入院または高額な外来での治療があらかじめ予想される場合には、事前に各保険者から「**限度額適用認定証**」を申請し、病院に提示することで窓口負担を上限額に抑えることができます。または、マイナンバーカードを健康保険証として利用した場合「限度額適用認定証」がなくても、適用区分がオンライン上で確認ができるため、限度額適用認定証を提示した時と同じく、窓口負担を抑えることができます。

＊限度額認定証は保険診療の範囲内であれば、病名を問わず利用でき、1回の申請で認定期間内は使用できます。しかし、保険料の滞納などがあると申請ができませんのでご注意ください。

＊マイナ保険証が使用できても、オンライン上に適用区分が反映されていないこともあります。その場合は限度額認定証の申請をお勧めします。

### 自己負担限度額

| 適用区分 |   | ひと月の上限額<br>(世帯ごと)                                   |
|------|---|---|
| ア    | 年収約1,160万円～                                     | 252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%<br>(多数該当140,100円) |
|      | 健保) 標準報酬月額83万円以上<br>国保) 旧ただし書き所得901万円超          |   |
| イ    | 年収約770万円～1,160万円                                | 167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%<br>(多数該当93,000円)  |
|      | 健保) 標準報酬月額53万円～79万円<br>国保) 旧ただし書き所得600万～901万円以上 |   |
| ウ    | 年収約370万円～770万円                                  | 80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%<br>(多数該当44,400円)   |
|      | 健保) 標準報酬月額28万円～50万円<br>国保) 旧ただし書き所得210万～600万円以上 |   |
| エ    | ～年収約370万円                                       | 57,600円<br>(多数該当44,400円)                            |
|      | 健保) 標準報酬月額26万以下<br>国保) 旧ただし書き所得210万円以下          |   |
| オ    | 住民税非課税世帯  | 35,400円<br>(多数該当24,600円)                            |

＊ただし書所得とは、総所得金額から基礎控除額 33 万円を控除した額です。

＊多数該当の場合とは過去 1 年間に、3 回自己負担限度額に達し、**4 回目以降**に該当する場合を指します。

限度額認定証を使用しても、自己負担の支払いが困難な場合には、生活保護制度などの申請も考慮しなければなりません。申請にあたっては条件があります。

がん相談支援センターまたはソーシャルワーカーに相談するとよいでしょう。

